

学校だより

令和7年4月30日(水) 第2号

心の豊かな生徒・自ら学ぶ生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻 3 7 5 0 番地

電話 048-756-1117

学校 Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>

「よさをみつけ よさをみとめ よさをのばす」

校長 細井 博幸

新年度が始まり、4月も最終日となりました。冬に葉を落とした正門前にある大きなケヤキの木も、爽やかで明るい生命力に溢れた新緑に覆われるようになりました。入学式から3週間が過ぎ、新入生も徐々に中学校生活に慣れてきたように見えます。部活動も本格的に始まり、1か月後に行われるさいたま市中学校総合体育大会に参加する部は、3年生最後の大会でもあることから、ゴールデンウィーク期間中も練習試合などの活動が予定されている部もあります。今年のゴールデンウィークは、日の並びが悪く、飛び石型と言われていますが、本校では、5月1日(木)がさいたま市民の日、2日(金)が10日(土)の土曜授業の振替休日としていることから、明日から6日(火)まで6連休となります。子どもたちにとっては、新年度慌ただしく過ごしてきた日々からほっと一息つける機会になるかと思いますが、交通事故、熱中症、SNSトラブル等には、十分気を付けて充実した大型連休をお過ごしいただきますようよろしくお願いいたします。



さて、前回の学校だよりでは、本年度の学校経営方針の概要についてお伝えしましたが、今回は、その中でも基本方針である「よさをみつけ よさをみとめ よさをのばす」についてもう少し詳しくお伝えしたいと思います。本校の学校教育目標は、「心の豊かな生徒 自ら学ぶ生徒 強くたくましい生徒」です。「心の豊かな生徒」から始まるのは、最も重視しているからです。今から9年前は「自ら学ぶ生徒」が最初であり、開校当初の42年前には「きまりを守る生徒」という言葉も加えられていました。何を重視していたかによって、その時の西原中生の姿を垣間見ることができます。近年では、いじめ、不登校の問題がニュースでも大きく取り上げられていますが、個人が感じる集団への安心感信頼感を醸成し、集団からの同調圧力等から解放された「心理的安全性」の高い西原中学校であることが大切であると考えています。そのためには、基本方針としている「よさをみつけ よさをみとめ よさをのばす」ことが出来る集団であることが求められると考えています。

心理学的に、人間は、防衛本能の一つとして、無意識に相手の悪いところや欠点を探す心理が働くことが分かっています。例えば、自分が失敗をしてストレスを感じた際、自分の悪いところに目を向けるのではなく、相手の欠点を速やかに見つけることで、自分へのストレスを相手に向け、ストレスから身を守ろうとするのだそうです。一方、アメリカの教育哲学者であるウィリアム・アーサー・ワード氏は、「他人の長所を見つけようとする、というわけか、自分のよいところが引き出される。」という言葉を残しています。医療コンサルタントの高橋秀昌氏によると、相手のよいところを見つけるコツとしては、①「色眼鏡を外すこと。」(過去の出来事、噂話を鵜呑みにするのではなく、今そこにいる人を見ること。)②「積極的に相手と関わること。」(相手と関わろうとしなければ、よいところは見つけられない。相手に興味をもつこと。)③「ポジティブに物事を捉えること。」(一見ネガティブなことでも、見方を少し変えてポジティブなことにする。)なのだそうです。

これは生徒同士が心掛けるだけでなく、教職員、保護者、地域の皆様も含め、学校に関わる全ての人が相手のよさを大切にすることで、「心理的安全性」の高い西原中学校にしていきたいものです。